

英語から読むか、日本語から読むか……

子ども向け シェークスピア

カナダの先生 難しい原文、書き直す

シェークスピアだとみられている肖像画はイギリスの国立肖像画美術館で、AP



直した英語と日本語訳が一緒に載っていて、日本語だけでも名作を十分楽しめます。

「シェイクスピアって、お

もしろい！」というシリーズ（ロイス・バーデット/鈴木扶佐子・訳）です。「こどものためのハムレット」「こどものための夏の夜の夢」など五巻が出版されました。

日本で言えば室町時代の終わりごろ、イギリスに生まれたいウィリアム・シェークスピアは、おもしろい劇をたくさん書いて、世界一有名な劇作家になりました。

★壮大なファンタジー

例えば「夏の夜の夢」は、貴族、職人、妖精の三つの世界が入り交じり、人々が恋に落ちたり心変わりしたり、夢

シェークスピア 1564～1616年。イギリスの劇作家、詩人。戯曲37編と、多くの詩を残した。戯曲は悲劇、喜劇、歴史劇に分けられる。「ハムレット」「オセロ」「マクベス」「リア王」は四大悲劇と言われる。「ロミオとジュリエット」も悲劇。「真夏の夜の夢」は喜劇。「生きるべきか死ぬべきか……」は「ハムレット」の中のせりふ。



のような人生のはかなさを描く壮大なファンタジーです。このため、バーデットさんは、「子ども向けではない」と大人が決めつけてしまっはもったいないと考えました。そして、大人でも歯が立たないと言われる昔の英語で書かれた原文を、現代英語にやさしく書き直しました。

英語と同じページに載っている日本語訳は、すべての漢字にふりがながついていますが、英語に自信のある人は、まず英語から挑戦してみてください。アートデイズという出版社から、各巻1800円。【内山孝代】



①「こどものためのハムレット」
②「こどものための夏の夜の夢」

「生きるべきか死ぬべきか、それが問題だ」……などの名せりふで知られるシェークスピアの世界を小学生にも味わってほしいと、カナダの学校の先生がやさしく書き直した本が出版されました。日本語版は、現代の言葉に書き